



# 市議会だより



わらじみこしをワッショイ！ワッショイ！（夏まつりDonDonかしまだい）

6  
月  
定  
例  
会

## 主 な 内 容

- 一般会計補正予算6億9,884万1千円を可決 ……2～3ページ
- 市長2期目の展望は（一般質問）……………4～10ページ
- 議会改革・市民病院建設調査特別委員会を設置……………11ページ

## 第2回定例会

# モノづくり人材育成事業、鹿島台駅周辺地区整備事業など 一般会計補正額6億9,884万1千円を可決

平成22年第2回定例会は、6月15日に招集され、6月25日までの11日間の日程で行われました。

今定例会には、市長提出の平成22年度大崎市一般会計補正予算を初めとする予算案3件、条例案7件、人事案4件、その他9件、及び議員提出議案1件が提出されました。

このうち、議案第73号平成22年度大崎市一般会計補正予算（第3号）及び議案第79号大崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対し、修正案が提出されましたが、採決の結果、両修正案は否決され、全議案とも原案のとおり可決されました。

提案された議案のうち、補正予算関係などについて質疑が行われ、その主な内容は次のとおりです。

## モノづくり人材育成事業

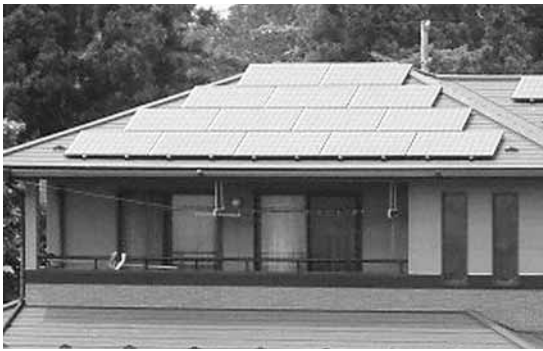
**問** モノづくり人材育成事業とはどのような内容なのか。

**答** 国が進める地域人材育成事業を活用するもので、企業に採用していただき、その人件費相当部分は国から支払われ、働きながら研修をして技術、資格等を身につけ、委託期間が過ぎてから正規職員として採用してもらえようような人材を育成するものである。

## 住宅用太陽光発電普及促進事業

**問** 住宅用太陽光発電普及促進事業の補助内容は。

**答** 住宅用太陽光発電システムの設置に対して、国と市で補助するものである。市からは、1件につき1キロワット当たり3万5千円で、12万2千500円を上限とし、国では1キロワット当たり7万円で24万5千円を上限として補助する。



住宅用太陽光発電システム

## 市民参加型事業仕分け

**問** 市民参加型事業仕分けの目的と内容は。

**答** これまで内部の行政評価にとどまっていた事務事業評価を、公開の場で市民目線により検証するものである。

市政の透明化と市民と行政の役割分担の明確化を進めながら、市民の市政参画と財政の健全化を図るものである。

**問** 事業仕分けを行う人はどのような人なのか。

**答** 市民参加型事業仕分けでは、まちづくり協議会、市内事業者及び行革推進委員会からの推薦による15名の仕分け人と、7地域からの公募による15名の評価委員による事業評価を想定している。

**問** 仕分け作業の流れと対象事業の絞り込みは。

**答** 3班集体で1班当たり10事業を評価していただく予定である。約300ある政策事業から、事業規模等で100事業に絞り込み、さらに行政改革推進委員会で60事業に絞り込んだ後、最終的に仕分け人の事前研修の中で30事業に絞り込む予定である。

## 多重債務等の相談窓口

**問** 相談者への具体的な対応として債務整理を行う場合、返済のための貸付制度等はどうなのがあるのか。

**答** 栗原市や登米市等は多重債務者に対する融資制度があるが、大崎市にはない。先進事例を研究しながら、今後どうあるべきか考えていきたい。

## 介護保険施設の開設

**問** 今回助成する介護施設の増設によって、どの程度の待機者の解消が図られるのか。

**答** 来春には29人規模の施設が入所可能となる。平成19年度時点での要介護度4、5の待機者は328人と把握しており、

約1割弱の待機者の解消となる。

### 水産資源増殖等施設整備事業

**問** 水産資源増殖等施設整備事業の内容とは。

**答** 江合川漁業協同組合が行っている、サケのふ化事業施設を移転するものである。現在のふ化場は水質の悪化や水温の上昇により営業に支障が出てきたため、池月道の駅付近に移転するものである。



サケふ化場施設

### 鬼首ロッジ解体後の跡地利用

**問** 鬼首ロッジ解体後の跡地利用をどのように考えている

のか。

**答** 指定管理者である株式会社オニコウベに主体となって考えていただきたい。

誘客に向けて何がよいのか、鬼首地区としてどのような施設が必要か、また鳴子温泉と相乗効果の上がるような環境整備ができるのかも踏まえて、検討していきたい。



解体が決定した鬼首ロッジ

### みちのくサンバ事業

**問** 古川の秋まつりで浅草サンバカーニバルの予選会を行うとのことであるが、8月の古川まつりで開催したほうがいいのではないか。

**答** 8月の最終土曜日に行われる浅草サンバカーニバルの本選が終わってから年内に予

選会を行うため、古川まつりではタイミングが合わない。

また、交通規制等に相当の経費もかかることから、秋まつりと同日に実施することで経費の削減にもなると考えている。

### 鹿島台駅周辺地区整備事業

**問** 鹿島台駅周辺整備事業は計画どおり進んでいるのか。

また、まちづくり協議会やJRとの関係は。

**答** 計画どおりに順調に進んでいると思っている。地域の皆様やまちづくり協議会と議論しながらここまで来たが、これからの詳細な部分についても協議を進めながらまとめ上げていきたい。

また、JRには、駅舎や自由通路の部分で次年度に向けての基本計画の設計業務を委託する予定である。

### 防災行政無線

**問** 防災行政無線の設備修繕料の内容は。

また、今後デジタル化に向けて、既存の戸別受信機はどうなるのか。

**答** 田尻地域の防災行政無線9カ所について、老朽化が進み、不具合が発生しているために修繕を行うものである。

デジタル化については、今年度中に基本調査設計を委託する予定であり、戸別受信機については、電波伝搬調査等の結果に基づき必要性等について検討したい。



防災行政無線（田尻地域）

### 岩出山学校給食センター

**問** 岩出山地域の小中学校について完全給食を実施するようだが、地産地消の取り組みはどうか。

また、米粉の利用についての検討はされているのか。

**答** 岩出山給食センターについては、大崎市産で大体34・

6%、県内産で52%となっており、さらに給食センター間の連携など、全体として地産地消の率を上げる努力を続けているところである。

また、米粉の利用については、全校、全センターで導入しており、供給は年3回から5回だが、回数をふやしていきたいと考えている。

### 国民健康保険税の税率改定

**問** 市民の所得が減少して担税力が弱まっているために、収納率を上げるのは厳しい状況である。そのため、国保会計の財政調整基金もますます減り、2年後の税率改定時には大幅に上げることになるのではないか。

**答** 悪循環にならないように、収納率向上策を地道に実施していく。まずは滞納をふやさないということ、現年度分に重点を置き、過年度分についても限られた職員数の中ではあるが、効率的に行っていく。

# 一般質問



市政に対する一般質問は、6月23日、24日、25日の3日間の日程で、20人の議員が市長の見解を問いました。  
要旨は次のとおりです。



佐藤 和好

## 攻めの環境政策による 環境産業ビジネス推進

**問** 市長2期目のスタート、施政方針によれば、自然共生をキーワードに「環境先進市」を目指し、環境産業、ビジネスを育成するとしているが、その施策をどう展開するのか。

**答** バイオマスタウン構想のBDF事業は廃食用油の回収拡大を図っており、今後各総合支所等に回収ボックスを設置し、市全体に拡大する予定。製造されたBDF燃料は公用

車への使用を検討している。菜の花プロジェクトは、現在数力所で耕作放棄地の復元を目指す団体と作付計画を話し合っている。

ラムサール条約湿地のワイズユースについては、ことし名古屋で開催される生物多様性条約締約国会議や8月に東京で開催するシンポジウムなど、各種イベントにおいて本市を国内外に向けて広くPR

し、「渡り鳥に選ばれたまち大崎」の環境や食材、観光資源を発信する。  
環境先進市大崎市実現のためには環境産業ビジネスの育成が重要であり、複数の部署にまたがる事務の整理と施策を推進する組織のあり方を検討するために、環境政策担当参事を起用した。

**掲載以外の主な質問項目**  
・大崎市流市民自治改革、自治基本条例の制定プロセス  
・公共交通システム再編、地域内交通の検討と今後



八木 吉夫

## 財政運営と産業振興

**問** 大型事業（病院、図書館）を控えての財政運営の健全化は大丈夫か。

**答** 50億円を目標に財政調整基金を積み立てられるような健全な財政運営を心がける。  
**問** 土地建物賃貸借使用料の実態に対応した見直し、無駄の排除をしてはいかかか。

**答** 財政健全化を進める上での阻害要因の一つという認識を改めたので、必要性、妥当

性を見直し、検討したい。

**問** フランド米古川産ササニシキの復権を期した事業展開はいかがかか。

**答** この機会にササニシキの復権に取り組み、栽培技術と販売体制を推進していきたい。  
**問** 大崎市の中心市街地活性化計画はいつ策定するのか。

**答** 中心市街地の活性化については、今後とも指導をいたしながら進めていきたい。

その一環として、病院跡地活用等もその視点でぜひ取り組んでまいりたいと思っている。その際の制度資金等についても検討していきたい。  
**問** 観光振興策として、鳴子温泉地区江合川でのアユ釣り全国大会を誘致してはどうか。  
**答** 河川を初めとする豊かな観光資源がたくさんあるので、体験型、交流型のツーリズムの振興の中で検討していきたい。



木内 知子

# 松山町駅前整備

**問** 平成9年、松山町駅前に町の玄関口として、ニュータウン「マリス」宅地分譲が開始され、これまでの販売区画数202、残区画は42区画である。当初3工区に分けての造成工事予定だったが、最後の南工区の約6割、4万5千平方メートルの広範囲に埋蔵文化財が確認され、平成15年に開発断念を余儀なくされ、現在に至っている。

**答** 本市の総合計画や施政方針にある定住人口、交流人口の増加を図る意味でも、JR東本線沿線で仙台圏のベッドタウンという地の利を生かして、「花と歴史の香るまち・松山」の駅前整備を、まちづくり基金を活用して進めるべきではないか。

**答** 平成20年度に松山町駅前南地区の土地利用計画のコンサル委託も計画したが、大崎

市全体の土地利用計画策定を優先させることから見送った経緯がある。地域住民の意見も踏まえながら、今後も総合的な分析、考察を加えて判断する必要がある。伊達文化がはぐくまれた歴史ある地域という視点も含め、本市の一体的な推進計画の中で調整していくべきと考えている。

**掲載以外の主な質問項目**  
 ・3種ワクチン（肺炎球菌ワクチン・Hibワクチン・子宮頸がんワクチン）接種の拡大



佐藤 講英

# 基幹産業である農業を再生し地域内経済の活性化を

**問** つくる自由、売る自由のもと、食管法が廃止され、海外から安い米が輸入されるようになってから十数年の歳月が流れた。この間、農村は著しく疲弊し、若者は生活できない農業に興味も関心も示さず、就農者の高齢化だけが進んだ。農業がためなら自動車産業ということで企業誘致を試みたが、この4年間でお隣の栗原市や加美町には企業進

出があるのに、大崎市には1社も来なかった。また、観光客を呼んでお金を落とすとしてもらおうとDCにも参加したが、市民の声に耳を傾けても、おかげで景気がよくなったとか、笑いがとまらないといった声も聞かない。主催団体に税金から支出した約3千300万円の負担金と7千600万円の人件費からして本当に効果があったのか、大いに疑問が残るとこ

ろである。今後行われる施策にどう生かされるのか。

**答** 宿泊数は3%減っている実態がある。また、旅行形態が、団体旅行でバス等を利用するものから、家族や友達同士などに大きく変わってきた。いつまでも今のような状況が続くわけではないが、何とかしなければということ、これまでのように中央で旅行メニユーを組み立てるのではなく、こちらで季節ごとのコース等を作成し、それを商品として売り出して行く着地型観光の話し合いをしている。



高橋 憲夫

# 施政方針の内容

**問** 過去4年間で「市民の一体感の醸成を着実に推進し、誤りのない道筋を描くことに全力で取り組んだことが評価された」と実感した」としているが、人口減少の中でのまぢづくり「20万都市構想」や市民感情を二分する病院の移転決定など、実態と乖離した受けとめ方ではないのか。

**答** 選挙の結果は大方の市民は評価をいただいたであろうと思っ

うのがどこかの新聞にあった。合併直後の首長選挙というのは非常に批判あるいは反動の対象になるようだ。そういう中で、市民から賢明な御判断をいただいた。合併協定や新市建設計画の着実な推進もその一つであり、つめに火をともす思いで進めた行財政改革、この成果も御評価いただいたのではないかと。

また、新生大崎市の地位を確立する意味で、大崎流域自治組織が確実に成熟してきたこと、観光面から鳴子温泉の東の横綱の認定、ラムサール条約2カ所目の化女沼の登録、鳴子の水の日本一おいしい水道水選定、バイオマスタウン構想や定住自立圏構想が確実に推進していくことなどを内外から認めていただいた。マイナスのことを御指摘いただいたが、近視眼的には当たらずとも遠からずの面はある。少し中長期的な視点で見詰めていただきたい。



20万都市構想等の看板



元気に育つ子牛



小堤 正人

## 口蹄疫防疫対策

**問** 県内自治体の防疫対策の取り組み体制に差がある。全体で統一した体制で取り組むべきでは。また、感染拡大防止のかぎは人と車を遮断することであるが、報道規制や交通規制の内容について伺う。

**答** 家畜防疫は同じエリアで一体的に行うことで初めて効果が出る。県とも協議しながら一体的な防疫体制ができるよう、他市町と連携を進めている。また、報道機関の出入りも含め、畜舎への出入りを

できる限り抑えて感染を予防することを検討している。

### 千手寺周辺地域振興策は

**問** 買収に同意いただいた方々のためにも、市街地活性化へとつながるような振興計画を策定すべきであり、跡地利用策、基本計画を12月までに策定することは、性急ではないか。

**答** また、南病棟、救命救急センターの利活用をどのように考えているのか。

**答** 千手寺周辺に住んでいる方々を初め、市民皆さんに納得してもらえらまちづくりを考えていきたい。

南病棟、救命救急センターの利活用については、本院建設整備プロジェクト会議で検討していく。

- 掲載以外の主な質問項目**
- ・畜産振興策
  - ・園芸作物銘柄対策事業効果
  - ・県営圃場整備事業推進



中鉢和三郎

## 林業振興の具体策

**問** 大崎市は地域の53%を林野が占める。その66%は鳴子温泉地域にあり、そのうちの38%（1万588ヘクタール）が杉を主とする人工林である。

**答** 現在、これら杉山が施業放棄の憂き目に遭っている。国は、林業振興、地球環境問題対策、防災の視点から「間伐等促進法」を制定し、平成19年から6年間、これまでの計画に加え、「特定間伐」とい

う年間20万ヘクタールの追加的な間伐を推進している。こうした情勢を受け、大崎市の林業振興の具体的な目標を伺う。

**答** 本市では、平成20年度に策定した大崎市森林整備計画に基づき、森林政策を進めている。平成23年度のみやぎ環境税の導入に伴い、今後は森林環境整備の推進施策の一つとして、造林や初期保育、初



加藤 善市

## 伊藤市政2期目の展望

**問** 市長はこれまでの4年間「大崎20万都市への挑戦」「おおさき産業革命の推進と1万人雇用機会の創出」「大崎市流域自治組織の確立」をうたい市政運営を行ってきたが、現実的には人口減が多い。この4年間定住促進をどのように進めるのか。

**答** センทรัล自動車をはじめとする自動車産業が大崎のすぐ近くの工場団地に進出し、

さらに、3万個ともいわれる部品の関連企業が進出してくる可能性があることから、移住支援センターを駅の中に開設して、宅建業界などと連携して、市民情報に関係企業、社員の方々にPRをさせていただいたことも着実に成果として上がってきた。

観光の面からも、観光立国を目指そうとしている中で、東北が新たな日本の観光のメツ

期間伐への環境税の活用に向けた支援を働きかけていく。また、国も環境面から林業に相当力を入れているので、それらを有効的に活用していきたい。

- 掲載以外の主な質問項目**
- ・地デジ難視聴世帯の解消
  - ・携帯電話のエリア拡大及び不感地帯解消
  - ・学校における読書活動の推進
  - ・学校における情報のメール配信
  - ・市民病院の療養病床の再編

力を目指そうということ、大崎の役割が大きくなってきた。そのことからすれば、ますます交流人口、観光交流人口が拡大していく可能性はある。そのときにどう挑戦していくか、トライしていくかというものは、大崎市がそういうものを目指していくという看板をかけることも必要であらうと思う。



相澤 久義

## 日本一自治体病院建設と 特別支援教育の充実

**問** 重症心身障害児・者の医療体制新設の考えは。

**答** 専門性が高く精通した医師が少なく独自に確保するにはハードルが高い。県、大学に派遣を強く要望していく。また、障害を持った方々、家族も利用しやすい施設整備を進めている。拓桃医療療育センターでもサテライト化の検討を進めており、県の施策も踏まえながら、関係機関など

と相談して対応していきたい。

**問** 高齢者施設入所希望の待機者解消のため、本院跡地を高齢者施設への考えは。

**答** 検討委員会などの話題になっており、改修費用、維持管理費の負担など、利活用に向け課題は多いが、検討していきたい。

**問** 発達障害等早期発見、早期支援など自立に向けた考えは。

**答** 7月に特別支援連携協議会を立ち上げ、関係職員の専門的知識を深め、保護者の方への啓発活動、早期発見の手だてや支援体制、特別支援教育の充実、個に応じた就労のあり方など一貫した体制を研究していきたい。

**問** 放課後、長期休業時の子供たちの居場所づくりは。

**答** 特別支援学級に在籍している児童が通う児童館があり、障害の程度により補助員を配置しながら対応している。



横山 悦子

## 古川第一小学校、 武道館、プールの整備

**問** 古川第一小学校は、北校舎は昭和4年建設、南校舎が昭和6年建設と、約80年が経過した伝統と格式がある学校である。プールも昭和29年建設で、市内では一番古い。平成23年度に市内小中学校すべての耐震補強工事も終了となることから、今後計画的な整備は。また、各中学校の武道館についても見解を伺う。

**答** 古川第一小学校の木造校舎については、将来の危険改築を念頭に平成21年度に耐力調査を実施。南校舎3千640点、北校舎4千440点と文部科学省の補助要件5千500点を下回った。今後、財政計画と調整を行い、整備できるように努力していきたい。

プールについては、昭和29年に建設された古川第一小学校の55年経過を最長に、30年を経過したものが25施設ある。

特に、老朽化の著しい19施設については施設整備計画に位置づけ、財政計画、実施計画との調整に努力していく。

武道館については、古川中、松山中、鹿島台中、田尻中の4校で老朽化が進んでおり、特に古川中、鹿島台中の2校については改築を要するため、優先順位を定め、順次改修に努めていきたい。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 視覚障害者の情報バリアフリーの推進
- ・ 旧有備館の一体的整備



小沢 和悦

## 市民病院本院建てかえ場所 問題は誤りなきよう慎重に

**問** 市長選結果は、穂波移転に賛同しない市民が多数であることを示した。昨年、1カ所の地質調査を行った業者の報告書でも「軟弱地盤なので全体を面的に把握できる本数のボーリング調査による精査が必要」と指摘している。よって、既に決まったこととせず、誤りなきよう慎重を期すべきではないか。

**答** 市長選で私は信任されたと思っている。ただ、たくさん意見があることは事実な

ので、そういう方々に理解をいたたく努力、耳を傾ける姿勢も大事にする。地質調査等の結果も報告し、より説明責任を果たしながら市民の方々に確実に理解を得、市民の不安を解消していきたい。

**問** 東北大学院の風間教授は「当該地点では、軟弱地盤により約3倍程度の地震動の増幅が予想され、確実な耐震性の担保」が必要と指摘している。病院事業管理者が基本設計発注の際「総事業費19億円以内」と条件をつけているだけに、ボーリング調査結果を議会と市民に公開し、疑問の余地のないようにすべきではないか。

**答** 議員と市民に知らせ、不安があるという方々がいる場合には、大学の先生なりに調査をお願いしたいと思っ



ボーリング調査の様子



鹿島台分院



山田 和明

### 安心して医療が受けられる体制

**問** 鹿島台地域で耳鼻咽喉科を開設していた医院が、平成20年9月、惜しまれながら閉院した。そのため、鹿島台分院に耳鼻咽喉科の増設をすべきと思うがいかがか。

**答** 市民病院では、本院、鳴子温泉分院、田尻診療所などで応援医師を動かしながら何とか対応している。耳鼻咽喉科という特殊診療科のために医師の確保がより厳しい状況にあり、鹿島台分院での対応はしていない。

今後については、地域のニーズ、スタッフの確保、経営の見通しなどを総合的に判断していかなければならない。

**問** 耳鼻咽喉科の医師は不足しているが、引き続き地域医療の充実を図っていく必要があるのではないか。

**答** 耳鼻咽喉科の開設に当たった一番の問題は、耳鼻咽喉科の医師が全国的に不足していることであり、市民病院でも常勤医師は2名しかいない。鳴子温泉分院、田尻診療所では、東北大学から応援をいただきながら行っているが、これ以上の東北大学からの応援は難しい状況であり、医師確保が難しいことを理解してもらいたい。

掲載以外の主な質問項目  
・差額ベッド代の支払い



遊佐 辰雄

### 鳴子温泉地域の水道料金の据え置きと源泉維持対策

**問** 不況の中、鳴子温泉地域の水道料金を据え置くべきである。また、9種類の温泉を守るため、行政としても検討していかなければならないのではないか。

**答** 合併後の一体性や負担とサービスの公平性から、据え置きは難しい。源泉維持は所有者の方々が担ってほしい。観光立市として着地型観光

窓口を設立するための準備委員会を立ち上げ、官民一体となった政策を展開していく。

### 市民バスの運行拡大と鬼首線の料金の引き下げをすべき

**問** 市民バス（乗り合いタクシー）を低料金で全地域に運行できるようにすべきだ。また、鬼首線の料金を200円、せ



只野 直悦

### 政権交代に伴う地域課題は

**問** 国への要望システムが民主党政権に一元化されたことへの対応と、地方分権勉強会に、どのようなスタンスで臨んだのか。

**答** また、田尻川改修事業の水門工事が休止となったが、促進策は。

**答** 事業報告や課題解決懇談会の形で中央省庁に出向き、共通認識がいただけるよう努力してきた。また、国の支出

田尻川改修事業については、早期再開に向け、要望活動を強化していきたい。

### 大崎市における認知症対策は

**問** 認知症の普及啓発の実績

めて上限500円に引き下げるべきだ。

鳴子、古川線のバス路線の始発を中山平温泉駅から運行できるようにすべきである。

**答** 鬼首ロッジ、キャンプ場までの部分は幹線道路として上限500円という形をとれる。

中山平温泉駅始発については地域内路線を検討する中で、総合的な部分で、今後考えていきたい。

掲載以外の主な質問項目  
・住宅改修助成制度の創設

と各地区での相談会の実情は。医療との連携も何う。また、支援の体制づくりは。

古川地域で実態把握事業を行ったが、その成果と課題は。

**答** 平成21年度の認知症サポーター養成講座は36回で980人となった。相談会は12回にふえ、医療ともつながっている。また、大崎市認知症検討会を立ち上げた。

実態把握事業では、164人の分析で健常49人、境界99人、認知症16人であった。今後、早期発見と早期治療の体制整備が必要と考える。





鎌内つぎ子

## 子育て支援策及び学校教育の充実を図るべき

**問** 市長公約である子育て日本一を目指すのであれば、まずは近隣市町村よりおくれいている子どもの医療費を小学校卒業まで無料にすべきではないか。

**答** 子育て支援策の優先順位を決めながら、財源の確保とともに考えていく。栗原市のような中学校まで入院のみ無料については、調査検討する。

**問** 教育指導にかかわる備品や学校の運営にかかわる備品の予算額はゼロである。学校現場から学習便りや学習プリント等の印刷や光熱費なども支障を来している。当初予算に教育現場の要望を入れて予算化すべき。

**答** 備品購入の予算がゼロということが続いている。今後、学校の実態を把握しながらその必要性を調査し、財政当局

とも議論しながら対応していきたい。

**問** 今、子どもの「読書離れ」「活字離れ」が指摘されている中、小中学校の大小によって学校図書館補助員の配置が異なっている。1校に1人の学校図書館補助員を配置すべきではないか。

**答** 今年度、図書館補助員を22名ふやした。さらに充実していくよう努力したい。

**掲載以外の主な質問項目**  
・総合支所の機能強化と今後のあり方

発達にとって望ましい教育環境はどうあるべきかを真剣に考えていただき、理解を得ながら事業推進を図ることが最も大切だと考えている。

**掲載以外の主な質問項目**  
・陸上競技場建設  
・文化会館建設  
・図書館建設



木村 和彦

## 小中学校の適正規模の考え方と統廃合の方向性

**問** 大崎市教育環境整備指針では、前期、中期、後期の3つに分けて学校の統廃合を進めようとしている。主役である子供たちと地域の声を十分に聞き、説明責任を十分に果たすべきと思うが、教育長の方針について伺う。

**答** 事業実施については、前期、中期、後期の3年間を目的として、前期では複式学級の解消をするための統廃合の

検討を行い、中期計画以降では12学級未満の小中学校の統廃合の検討を行うとしている。通学距離や地理的条件、通学上の安全性、学区を取り巻く環境などを総合的に勘案して検討を進めるので、小学校のすべてを統廃合の対象としているのではない。

統廃合の個別、具体の検討を行う場合には、保護者や地域の方にも、子供たちの成長



豊嶋 正人

## 施政方針の日本一の自治体病院建設、子育て、健康とは

**問** 施政方針で、日本一の自治体病院を目指した病院建設、子育て日本一、日本一の健康

なまちを目指す。述べているが、なぜ日本一なのか。3つの課題に対して、市民生活を安心・安全に過ごすための切実な要望が非常に多くなっている。妊婦健診14回は県内最後

に実施。近隣自治体との肩並べ、追いつくのではなく、得意わざを持って日本一を目指すと言った。意気込みは期待したいが、各種計画をきち

んと忠実にやっていくことが非常に大事ではないか。

**答** 反問権はないが、なぜ2位や3位でよしとするのか聞いてみたい。磨けば光る可能性の資源や素材がたくさんある。可能性を追い求めるならば日本一を目指す。

病院は、医療、経営、連携の面で、自治体経営のお荷物だといわれる中で、病院建設を契機に、市民の健康はもちろん、地域づくりの発展の起爆剤にしていきたい。市民の皆さんと一緒に、日本一の自治体、大崎モデル、成功モデルをつくっていききたいという意味で日本一を目指させてい

ただ。

健康は、昨年、健康増進計画を策定。これに市民一人一人のアクションプラン、行政、地域、企業それぞれのアクションプランを提唱している。恵まれた地域を武器にしながら健康日本一を目指す。



子育て日本一を目指して



佐藤 清隆

## 伊藤市政 4年の自己評価

**問** 選挙公報に市の財布を54億円豊かにしたとしているが、その要因の一つに国からの合併に対する恩典によるものがあるが、これまでの累積額はいくらになるのか。

**答** 合併算定がえ分で、21年度分までで14億4千万円、合併補正分で14億4千万円、合わせて155億8千万円ほどの金額が合併による財政上の特典である。

### 水田活用自給力向上事業

**問** 水田をフル活用し、耕作放棄地を解消してこそ食料自給力の向上につながるのだが、本市の成果はどうか。

**答** 新規需要米は、前年の約3倍の406ヘクタールに増加。また、保全管理や調整水田は110ヘクタール減少しており、耕作放棄地の防止につながっていると考える。



産業用無人ヘリによる播種作業

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 学校給食（南学校給食センター）の配食の拡充策
- ・ 河川の自流水の活用



富田 文志

## 視覚障害者の 現状と安全対策

**問** 市内で視力に障害を持った方がどれくらいいるか。また、音響装置つき信号機や点字ブロックの設置状況は。

**答** 視覚障害の方は378人で、音響装置つき信号機は古川地域に6カ所である。点字ブロックの実態把握はしていない。今後は音響装置つき信号機同様、整備拡充を図っていく。

### 新市民病院の駐車場、不足を生じる可能性は

**問** 新市民病院本院のオープン時、約千台の駐車スペースで不足が生じないのか。

**答** 患者用駐車場600台分を1カ所に集約して利便性を図るとともに、外来の予約制導入などで、現在のような混乱は回避されると考えている。限られた事業費の中で用地を確



佐藤 弘樹

## 若年層の雇用対策と 積極的な支援策

**問** 最近の社会情勢、景気動向、企業の経営環境の変化により、若年層の雇用状況は極めて厳しい。本市でも、各種事業を進めているが、今後の相談窓口体制の充実や支援施策拡充への考えを伺う。

**答** 本年度から、介護、医療、農業、林業、観光などの分野において、雇用機会を創出する重点分野雇用創出事業や地域人材育成事業など、若年層を重視した事業を積極的に推進したい。また、企業誘致はもとより、市内企業の技術力向上や企業連携による受注体制の構築も図り、あわせて商店街活性化や農商工連携の取

いての考えは。

**答** 本年度から、介護、医療、農業、林業、観光などの分野において、雇用機会を創出する重点分野雇用創出事業や地域人材育成事業など、若年層を重視した事業を積極的に推進したい。また、企業誘致はもとより、市内企業の技術力向上や企業連携による受注体制の構築も図り、あわせて商店街活性化や農商工連携の取

### スポーツ施設の整備

**問** 陸上競技場や総合的なスポーツができる施設整備と、師山の新江合川緑地サッカー場の整備の考えについて。

**答** 大崎市スポーツ振興計画では、スポーツのできる環境整備の必要性を掲げており、本年度策定のアクションプランでも検討していく。師山のサッカー場整備については、大崎地区サッカー協会の協力を得ながら進めていきたい。

り組みなども引き続き支援したい。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 市民協働による政策提案の方向性と政策形成への反映
- ・ 各分野のコーディネーター役となる人材育成策
- ・ 公共交通再編の現状とデマンド型乗り合いバス
- ・ 幼保、小中等の教育環境整備
- ・ 地デジ難視聴地域対策
- ・ 国道346号鹿島台バイパス改築事業の見通しと説明責任

# 特別委員会設置

今定例会において、地方自治を取り巻く情勢に幅広く対応し、市民の負託に的確に対応することを目指した議会の活性化を図るため「議会改革特別委員会」を、市民病院本院建設の整備計画及び千手寺周辺地区の地域振興策を調査するため「市民病院建設調査特別委員会」を設置しました。

## 議会改革特別委員会

- |       |                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 長  | 佐藤 勝                                                                                       |
| 副委員 長 | 門間 忠                                                                                       |
| 委員    | 八木 吉夫、佐藤 弘樹、中鉢 和郎、相澤 久義、木村 和彦、遊佐 辰彦、佐藤 講雄、只野 直悦、山田 和明、山内 康治、木内 知子、佐藤 和彰、栗田 和彰、大木 和彰、佐々木 武徳 |

## 市民病院建設調査特別委員会

- |       |                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 長  | 後藤 錦信                                                                         |
| 副委員 長 | 鎌内 つぎ子                                                                        |
| 委員    | 加藤 善市、横山 悦子、相澤 孝弘、富田 文志、齋藤 文博、氏家 善男、小堤 正人、豊嶋 正人、青沼 智雄、高橋 憲夫、小沢 和悦、大友 文悦、佐藤 清隆 |

## 宮崎県畜産農家へ義援金

平成22年7月5日、大崎市議会議員親睦会は宮崎県の畜産農家に対し、社会福祉法人宮崎県共同募金会を通して、宮崎県口蹄疫被害義援金5万円を贈りました。

## 請願

今定例会で審議された請願は、次のとおり決定されました。

### 【継続審査】

- ◎請願第1号 「岩出山町すこやか子育て支援金」給付撤廃を求める請願

## 表彰

5月26日に開催された第86回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として10年以上在職し、市政の振興に努めた功績により、5名の議員が表彰を受けられました。

### ◎議員30年以上

小沢 和悦

### ◎議員15年以上

(前)笠原 校藏

### ◎議員10年以上

(前)木村 和彦、佐藤 講英、門脇 憲男

## 第2回定例会

傍聴人数  
**45人**  
※皆様の傍聴をお待ちしております。

## 意見書

今定例会において、議員提出による意見書1件(議案第89号)が提出され、原案のとおり可決されました。

### ◎第89号 安全・安心な国民生活のための予算確保と国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書

## 人事

### ◎副市長

高橋 宣明  
仙台市青葉区桜ヶ丘四丁目9番17番地

岩淵 文昭  
古川馬寄字南屋敷14番地1

### ◎監査委員

宮崎 正典  
古川桜ノ目字原37番地7

遠藤 猛雄  
鹿島台大迫字五十九番屋敷2番地5

## 第2回定例会

議会中継(LIVE)  
アクセス件数  
**3,348件**

## 議会の主な動き

- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 8月 | 17日 本会議(第2回定例会)         |
|    | 18日 本会議                 |
|    | 21日 本会議                 |
|    | 22日 情報化対策特別委員会          |
|    | 23日 民生常任委員会             |
|    | 24日 議会運営委員会             |
|    | 25日 本会議                 |
|    | 29日 議員全員協議会             |
| 7月 | 1日 情報化対策特別委員会           |
|    | 6日 議会改革特別委員会            |
|    | 14日 総務常任委員会             |
|    | 16日 議会改革特別委員会           |
|    | 22日 議会運営委員会             |
|    | 26日 市民病院建設調査特別委員会       |
|    | 27日 議会改革特別委員会           |
|    | 28日 情報化対策特別委員会          |
|    | 28日 民生常任委員会             |
|    | 28日 産業常任委員会所管事務調査(行政視察) |
|    | 30日                     |
| 9月 | 4日 議会運営委員会              |
|    | 6日 情報化対策特別委員会           |
|    | 9日 議会改革特別委員会            |

| 議案番号   | 議 案 名                                             | 審議結果 |
|--------|---------------------------------------------------|------|
| 報告第 2号 | 平成21年度大崎市一般会計繰越明許費繰越計算書                           |      |
| 報告第 3号 | 平成21年度大崎市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書                      |      |
| 報告第 4号 | 平成21年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書                  |      |
| 報告第 5号 | 平成21年度大崎市水道事業会計予算繰越計算書                            |      |
| 報告第 6号 | 平成21年度大崎市水道事業会計継続費繰越計算書                           |      |
| 報告第 7号 | 平成21年度大崎市病院事業会計継続費繰越計算書                           |      |
| 報告第 8号 | 専決処分の報告について                                       |      |
| 議案第73号 | 平成22年度大崎市一般会計補正予算（第3号）                            | 原案可決 |
| 議案第74号 | 平成22年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                      |      |
| 議案第75号 | 平成22年度大崎市水道事業会計補正予算（第1号）                          |      |
| 議案第76号 | 大崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び大崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 |      |
| 議案第77号 | 大崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例                 |      |
| 議案第78号 | 議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例                        |      |
| 議案第79号 | 大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例                            |      |
| 議案第80号 | 大崎市の行う選挙等における投票管理者等に対する報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例  |      |
| 議案第81号 | 大崎市国民宿舍鬼首ロッジ条例を廃止する条例                             |      |
| 議案第82号 | 大崎市標準小作料設定協議会条例を廃止する条例                            |      |
| 議案第83号 | 大崎市土地開発公社定款の変更について                                | 原案同意 |
| 議案第84号 | 副市長の選任について                                        |      |
| 議案第85号 | 副市長の選任について                                        |      |
| 議案第86号 | 監査委員の選任について                                       |      |
| 議案第87号 | 監査委員の選任について                                       |      |
| 議案第88号 | 工事請負契約の締結について                                     | 原案可決 |
| 議案第89号 | 安全・安心な国民生活のための予算確保と国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書          |      |

※  は議員提出議案です

◆情報化対策特別委員会◆

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 委員    | 委員長   | 委員    |
| 副委員長  | 委員    | 委員    |
| 相 佐 富 | 鎌 田 文 | 横 山 義 |
| 山 内 弘 | 山 久   | 山 悦   |
| 村 澤 久 | 田 悦   | 村 悦   |
| 正 康 和 | 人 治 明 | 人 治 明 |

**編集を終えて**

本号より全面的に見直した紙面構成で、市民の皆様には議会の審議内容をお届けします！市議会改選後、初編集となる本号では、新委員一同知恵を絞ってアイデアを出し合いながら、編集作業に努めてきました。

表紙の題字、子供たちの元気をテーマにした写真、字体や文章構成、一般質問の掲載内容など、まだまだ課題はございますが、今後とも紙面づくりを工夫し、発行してまいります。

また、「開かれた議会」として、既に導入済みのインターネットの議会中継や会議録検索システムを初め、議会ホームページのさらなる充実など、積極的な情報公開に向けて取り組んでまいりますので、議会傍聴も含め、ぜひ強い関心をお持ちいただければ幸いです。

佐藤 弘樹